

介護の社会化を後退させない

どうなるの？介護保険

2000年からスタートした介護保険は、3年ごとの見直しを行っており、現在2015年度の改定（第6期）に向けて、大幅な変更が検討されています。介護度の低い「要支援」を対象としたサービス「予防給付」をはずして、市町村の事業（地域支援事業）に移行させることや、利用料の自己負担を切り上げなどです。

高齢化率（65歳以上）が25%を超えている横須賀市にも、ますます、高齢者が何時までも家庭（在宅）で元気に暮らし、万が一の時にはサポートを受けて生活の質や健康状態を保つ工夫が求められます。

しかし、神奈川ネットが夏に行った、「在宅生活に関するアンケート」では、現行制度においても、介護保険のサービス内容に対する意見が多く寄せられており。中でも、食事作り・買い物・ゴミの始末など「生活支援」に関するものです。

介護事業に携わる事業者からも、「生活援助」を適切に提供することで、改善がみられ、身体介護や施設入所に移行しにくいとの意見が寄せられています。

費用の面からも、施設入所等重度化にかかる費用は高額となることから、第6期の改定で検討されている、「要支援の市町村事業への移行は」、市町村格差を生じるため、慎重な対応が必要と考えます。



また、地域で元気に暮らせるよう、本市でも市内12か所にある、「地域包括支援センター」が中心になり、地域福祉をすすめる必要があります。センターの機能が発揮できるような工夫も必要と考え、実現に向けて取り組んでいきます。



意見交換会 どうする！横須賀の「子ども・子育て新制度」

H27年4月から始まる、「子ども子育て新制度」。

現在各自治体で、「子ども・子育て支援事業計画」を作成しています。本市でも、保育園・幼稚園、学童クラブを始め、一時預かりや市独自の取組みが、子ども子育て会議を経て決まります。

子育て環境は刻々と変わっています。子ども自身や子育て中の保護者の思い、子育て支援者の願いなどを率直に話し合いませんか。

制度の概要もご説明します。

日時 11月14日(木)10~12時

場所 横須賀市勤労福祉会館3階

(ヴェルク横須賀) 日の出町1-5

参加費：無料 入場自由

連絡先：090-6178-8626（瀧川）

実施は11月

ご提出を！

—子育て家庭5000件—

横須賀市による市民への

アンケート実施中！

新たな制度づくりに、市民の声が反映されるよう、ご提出をお願いします。子育ての実態や、ニーズを明らかにするために重要です。

上映会&監督講演会「福島六ヶ所未来への伝言」

日時 12月1日(日) ①10時 ②13時 ③16時30分

場所 ウェルシティー横須賀(逸見) 2階市民ホール

一般前売り1000円(当日1200円)、大学生・障がい者500円、高校生以下無料

①は講演無し。託児ひとり200円(要事前連絡)①②のみ。

連絡先 090-3472-4105(加藤) 主催「未来への伝言」を観る会

「子ども・被災者支援法」が成立しても、現行政府は、支援対象区域を福島33自治体とする基本方針を閣議決定へ。みなし仮設住宅への入居期間は'15年3月まで延長されたものの、帰還を強いられない権利は反故にされ、周辺13自治体から意見書まで提出されています。追加被ばく許容限度年間1ミリシーベルト以上への支援方針は架空のものに。

放射能事故を起こした福島第1原子力発電所でも使われている、「核燃料」の加工工場があり、「原子力空母」がいるまちで暮らす私達。

- 今一度、この映画を見て核燃サイクルの矛盾を考えてみませんか -

ネット・横須賀も実行委員会に参加しています